

第1回 ワーキンググループの開催概要

令和3年10月22日 桐生市環境先進都市将来構想推進協議会委員のメンバーが、2つのグループに分かれ、それぞれのグループで『ゆっくりリズムのまち桐生』を具現化するための資源の洗いだしを行い、提案づくりをおこなった。



交通・まちづくりWG



生活・地域資源WG



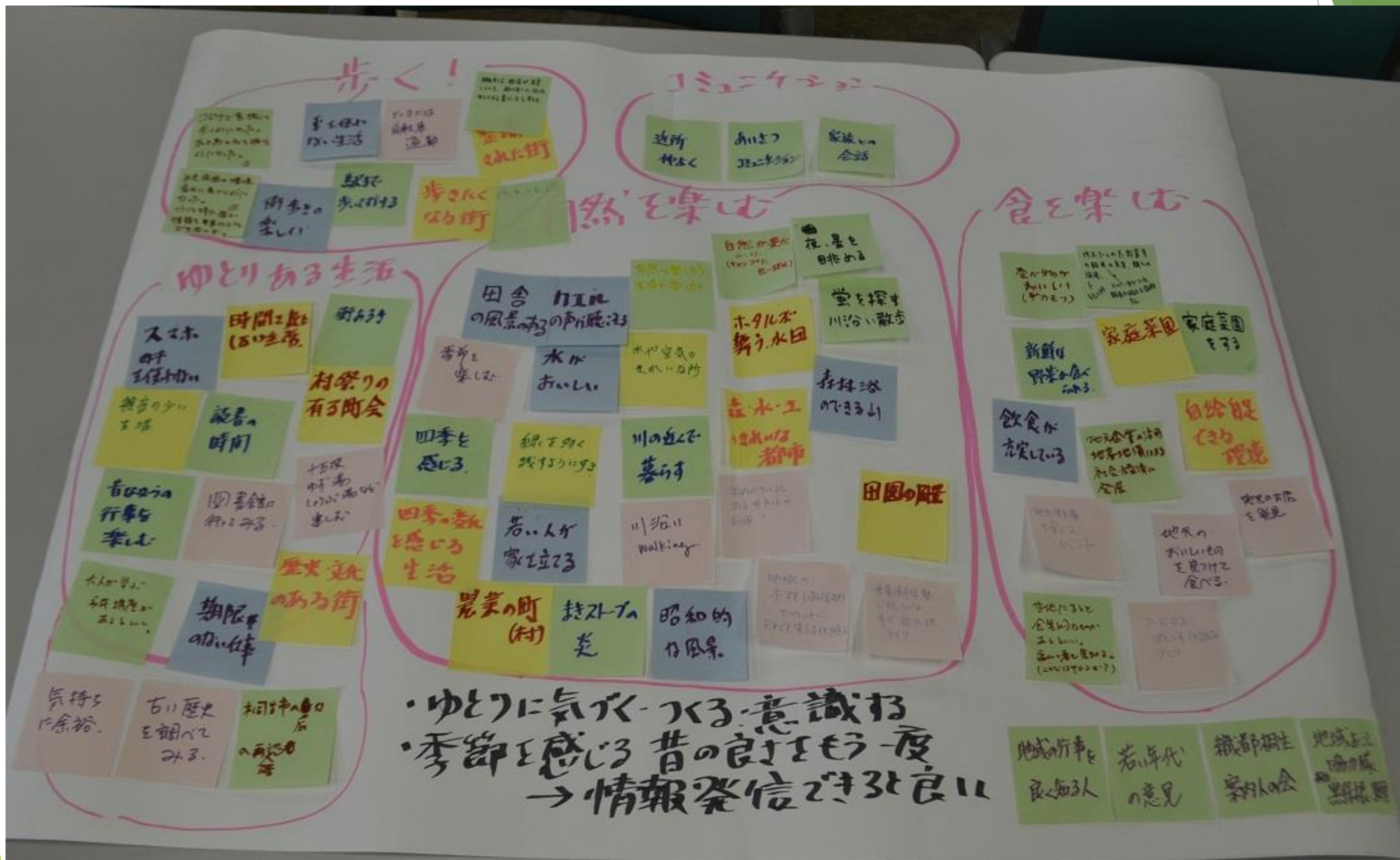
主な意見

- ・ワーキンググループのメンバーに女性・若者を増やすと良い意見があるので参画して欲しい。
- ・食住接近。ライフスタイルを変える取り組みとし、コンパクトシティ化・学校統廃合へ。
- ・様々な交通体系により、広い市域が一体として繋がっている。
- ・桐生らしい小型EV・ナローEVをメインとして普及し、充電ステーションも整備していく。
- ・道路は小型EVが走りやすいゾーン20・30を設定し、桐生らしいまちづくりを実現していく。



提案発表

生活・地域資源ワーキンググループ ゆとりある暮らし方の提案



生活・地域資源ワーキンググループ ゆとりある暮らし方の提案

主な意見

- ・ ゆとりに気づく、つくる、意識することがないと、ゆとりある生活はできない。
- ・ あいさつをし、家族、近所とお互い話し合える心の余裕を持つことが大切。
- ・ 村祭りや季節の風習など昔はゆとりがあり、実施することができた。
- ・ 季節の行事等を情報共有し、発信することで自分もやってみようという気持ちが出て、ゆとりができる。
- ・ 桐生は、自然に囲まれている。自然を楽しむこと・四季を感じることで気持ちにゆとりが持てる。
- ・ 桐生は、まちあるきが楽しめる。ゆとりをもったまちあるきで心に余裕ができる。



提案発表